

ヤマトスジグロシロチョウ

兵庫県：要注目

Pieris nesis japonica

環境省：

種の概要

前翅長18～32mm程度。前後翅ともに白色で、前翅端と翅脈は黒い。後翅裏面基部には黄色斑がある。主に山地に生息し、幼虫はコンロンソウ、イワハタザオ、スズシロソウなどを食べる。年多化性で、成虫は4月～10月頃まで見られる。



写真提供：刈田悟史

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、西宮市、芦屋市、宝塚市、川西市、猪名川町、加古川市、西脇市、多可町、姫路市、神河町、市川町、福崎町、相生市、宍粟市、豊岡市、養父市、朝来市、新温泉町、丹波市、洲本市、淡路市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		

特記事項

要調査から要注目に変更

県内の主な食餌植物であるハクサンハタザオの分布が局所的であることに加え、近年、河川敷の改良工事や外来植物繁茂などでハクサンハタザオの生育環境が悪化した。

保護上の留意点